

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	創伸館放課後デイ栗山		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 10日		～ 2024年 11月 12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		～ 2024年 11月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 11月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	予定などを視覚化して子ども達に分かりやすく示している	イベントなどの際には日時や内容などを分かりやすく示した掲示物を作成し、子ども達の目に入る場所に掲示している。加えて、声の大きさなどを視覚的に示したり、制作などを行う際の材料を区分けして子ども達がスムーズに作業などを行えるようにしている	活動などを実施する際に子ども達が指示が理解できず、上手く行動に移ることが出来ない際にその場に応じた視覚的な掲示物を作成することでより活動にスムーズに取り組みやすいような仕組みづくりを行う
2	利用児に対して共感的な支援を行えている	子どもたち同士の中でトラブルなどが発生した際は、スタッフが率先して子どもに寄り添って思いを聞いてあげたり、子どもの中で活動に参加できないなどの不安な思いを抱いている際もスタッフがその子に寄り添い、その子の思いをしっかりと聞いてあげる事で共感的な支援に繋がっている	子どもが楽しく過ごしているときや、子どもが自分の中で頑張っていて取り組んだと思える事に挑戦した際などにもスタッフが寄り添い子どもの達成感や喜びも分かち合うという面での共感的な支援を行う
3	子どもの様子をSNSなどで対外的に定期的に発信している	子ども達の製作している風景やイベントや各種活動に参加しているときの様子をSNSや利用児の家庭などに発信している便りに適宜掲載することで子ども達の来所時の様子などが分かりやすく伝えるように意識的に取り組んでいる	避難訓練などの安全面に関わる活動などについても実施した際に適宜SNSに発信をして、現状実施の様子が見えにくくなっている安全面の活動の面に関して子ども達の様子が分かりやすく伝えていけるようにしていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内における活動のスペースが十分に確保できていない事がある点について	課題をするスペースと遊びをするスペースが一体化されている為、課題を集中して行うことが出来ないなどの問題が発生している事がある	設備面でのスペースの確保には限度があるため、人力的に十分な配置が整っている時に課題を終えた子ども達を積極的に外遊びに連れていくなどして子ども達が集中して課題に取り組める環境を整備していく
2	地域交流が十分に行えていない点について	他の放課後デイなどを含めた地域での交流が十分に行えていない	他の放課後デイとの合同企画などを行ったりすることで地域交流の幅を広げていけるような取り組みを行っていく
3	家族支援が不足している点について	ペアレントトレーニングの体制が十分に整備されていない事から本格的なペアレントトレーニングなどは現状行えていない	法人としてペアレントトレーニングを実施できるスタッフを育成するなどをしてペアレントトレーニングを本格的に行う体制を行っていくようにして、ペアレントトレーニングを行っていくようにする

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 創伸館放課後デイ栗山

公表日 2024年12月28日

利用児童数 29人

回収数 22人

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	1		4	充分とは言えない 活動している場面にはあまり見たこと がないので	外遊びの機会を今後より充実させていく
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	16	2		6	これもその場にはないので・・・ただご連絡を取ったりする中で人手が足りない感じは しません	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	3		6	個人情報の不足のため判断が出来ない あまりゆっくりお部屋を見たことがないので、 何う時もお子さんがいないので・・・	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19			3	ただ本人から何も聞いてないのでおそらく気 にならないのだと思います	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	20	1		1	子どもは居心地が良いようです。専門性につ いてはよくわかりません。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	20			2		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	21	1				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思います か。	20			2		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20			2		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思います か。	18	1		4		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。	9	3	3	7	たぶん今のところ数ヶ月娘が行った日にはな かったと思います。	他のデイサービスとの共同のイベントな どを通して地域の他の子どもと交流する 機会を増やしていく
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	22					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	18	2		1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われています か。	8		4	10	すみません。あつたかも知れませんが思い出 せません	ペアレントトレーニングの体制を整備し ていく事で家族支援体制の強化を目指す
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達 の状況について共通理解ができていますか。	20	2				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	2		1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22					
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	3	4	8		ペアレントトレーニングの参加者を対象 にしたフォローアップの機会を充実させ ていく事で保護者同士の交流の機会を 図っていく	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17			3		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18			2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	2	1	4	訓練についてはよく分かりません	各種訓練の実施状況などをモニタリングの際などに保護者に説明をして理解を促す
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	1		6	防災設備が少ないのは少し不安	防災設備の説明を来所した際に保護者に伝えていく
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	1		3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	1		5		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19	1			通う日は楽しみにしているし楽しいと言っている	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18	1		1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	20					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
創伸館放課後デイ栗山		2024年12月28日				
		チェック項目		工夫している点	課題や改善すべき点	
		はい	いいえ			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	2	机などを可動式にすることで活動形態に応じて空間の活用を行う	スペースが狭く感じる事があり遊ぶスペースや課題を実施するスペースの振り分けが不十分な事がある
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1		職員の配置数が余剰又は不足しているケースが多い
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	行事の予定や各種案内をフライヤーなどで掲示したりして見える化している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	2	子ども達の荷物をクリアボックスで仕切ることなどで個々の荷物の所在が分かりやすくするような配慮を行っている	使用しているものが経年劣化していたり先がとがってしまったものがあるなど不十分な点がある
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1	個室で子どもの対応など必要な時があれば、スタッフが意識的にスペースを確保して個室のような空間を作っている	個室になるような環境が設定できていない
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	1	3	日々の支援の終わりには振り返りの時間を設けて支援の課題点などがあれば洗い出して業務改善に繋げるようにする	目標自体がないと感じる
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	0	4		担当者ベースの把握に留まってしまい、全体の情報共有が行えていない
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	2	教室のミーティングの際にスタッフの意見を拾い上げる機会を設けて、その内容を基に業務改善に活かしている	意見を伝える機会が少なく不十分であり、面談や意見を述べる機会を設けていくようにする
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4		外部評価自体が行われていないと考える
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1	月1回ベースで法人研修は実施して、資質の向上を図るようにしている	もう少し研修の場があった方がいいと感じる。具体的に新人研修の実施や座学研修の機会を設けていくようにする
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	0	4		現状法人としては支援プログラムを公表できていない
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0		放課後等デイサービス計画の作成は行っている
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	1	毎回ではないが内容共有はされている	全てのケースにおいては内容共有されていない
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	毎回直接的ではないが、資料はいつでも閲覧できるようになっている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2		共有されていない事が多いと感じる
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	基本的には設定されている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	2		一部のスタッフで構成されており、職員個人単位で立案している

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	職員個人単位であるが、固定化されないように過去実施分も確認している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	再考の余地はあるが実施できている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	3		朝礼や昼礼などが行われていない事がある
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	日々の振り返りを行い共有しており、送迎時の状況も共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	日々振り返りを行い、誰がどの利用児童の記録を記載するか振り分けている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	しっかりと時期とタイミングに基づいて行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	0	実施できていると感じる	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	2	2	選択肢を与えたり、子ども達で話し合う機会を設けたりしている	選択できる事が少ないと思われる
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	タイミングが合えば児発管が参画している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	2	一部の関係機関とは連携できる体制になっている	まだ連携が少ないと感じる
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	1	まだまだ密に行う必要はあるが、都度報連相を行っている	時々抜けがある事がある
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	2	必要に応じて当該施設とやり取りを行っている	直接訪問して様子を伺うなどのアクションは行っていない事がある
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	3		現状機会がない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	3		助言や研修などを行う必要がある
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	2	イベントなどに参加したりしている	現状はその機会がほぼない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	0	全員ではないが出来る限り参加している	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	利用当日の状況等の報告をしたり都度報連相も行っている		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	4		現状体制が整っていない	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	口頭ベースでも説明は行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	意向に沿えない事もあると説明をしている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	都度説明をして同意を得ている	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	1	都度報連相を行い助言や支援は行っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	4		現状機会を設けられていない
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	都度報連相を行い、職員間でも話し合ったりしている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	毎月便りを発行したり、適宜SNS等の発信も行っている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1	3		机上に書類が置いたままになってしまっていることが一時的とはいえ発生している
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	症状や特性に応じて接し方を変えたり、写真や文字などを掲示して見える化をしている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2		利用者の保護者などの参加に留まっている
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	2	関連機関の担当者を招いて研修訓練などを実施している	訓練の機会は少ないと感じる
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	1	訓練などを実施している。ただ頻度、精度において再考の必要性がある	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	保護者との窓口担当がやり取りを行い、他の職員にも周知共有している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	2		保護者から情報提供、共有をして頂いているに留まっている
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	2		研修や訓練などは実施しているが、設備の充足や定期的な振り返りが必要
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	緊急連絡網などを作成したり都度報連相を実施している	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	2	口頭や報告書などで共有している	他教室との情報共有が少ないと感じる
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	研修などを実施している。実施後は報告書などを作成している	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	マニュアルなどを作成して共有している		